



みんなの力で 「^{ひと}郷づくり」⑥⑥

市郷づくり支援課(津屋崎庁舎) ☎52・4913
メール sato@city.fukutsu.lg.jp



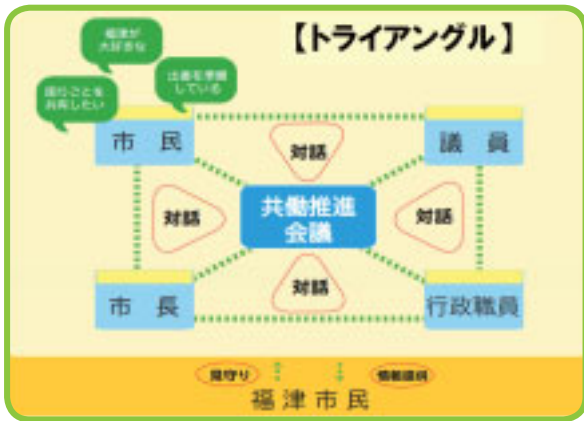
対話による共有・共感が、共働を生む

平成22年1月、市は、公募委員とアドバイザーからなる「福津市共働推進会議」を設置し、福津市の共働や地域自治について提言してもらうため、諮問をしました。

「どうすれば共働が生まれるのか」この審議会では、仮説をたて、プロジェクト『トライアングル(対話の場)』というツールを考え出して実践しました。その結果を検証して、平成24年9月、市長に答申をしました。



▲9月28日、市長へ答申しました



トライアングルは対話の場

今回の答申では、トライアングルは、市民が企画・運営を行うため、有効性の高い「福津スタイルの市民参画と共働のためのツール」である、との提言がなされました。

トライアングルは、市民、行政、議会などがお互いの立場を認め合い、福津の未来のために、自由に闊達な意見を交わす対話の場です。

(左図は答申書から引用)

「福津市共働推進会議」が実践した6回のトライアングル

開催日	参加対象(組み合わせ)		テーマとねらい
① 平成23年 5月28日(土)	新任市議会議員7人	市内中学生15人	『住みごちは何点?』 ・現在と将来の「担い手」の対話 ・対話が成立するか試行
② 7月31日(日)	若手・中堅市職員 16人	子育て世代の市民 23人	『私たちの子育て』 ・市職員が市民として参加 ・問題意識や情報共有が生れるかどうかを検証
③ 12月10日(土)	市内の障害者施設通 所者、家族、施設職 員14人	市民、市議会議員、 市職員17人	『私たちの福祉～地域でよりよく生活ができるように』 ・デイサービスセンターからの問題提起で、共同企画 ・福祉分野、障がい者との対話などで、どう使えるか検証
④ 平成24年 3月10日(土)	食・生き物のスペシャ リスト6組21人	福津の自然を味わう 市民34人	『福津の自然と生活』 ・うみがめ課職員に会議参加や企画など協力依頼 ・参加者が準備した食事をしながら、食と環境の対話
⑤ 6月30日(土)	市民21人	市職員17人	『男のくせに、泣くな!?!』 ・男女共同参画推進室からの相談を受け、共働で実施 ・行政側の課題「啓発と当事者意識の高揚」にトライ
⑥ 9月16日(日)	郷づくり推進協議会 関係者17人	各種団体所属の市民、 市議会議員、市職員 16人	『わたしの地域の明日～郷づくりが市民の意向に沿って進んでいくために～』 ・市長からもらったテーマのうち「郷づくり」を選択し実施 ・どのような成果が挙げられるかを検証

【広報ふくつ 平成24年11月1日号】

あなたのご意見をお聞かせください。

〒811-3293 福岡県福津市中央1-1-1 福津市役所広報秘書課広報広聴係(福間庁舎)

☎0940・43・8113 FAX0940・43・3168 メール info@city.fukutsu.lg.jp

この広報誌は再生紙を使用しています。